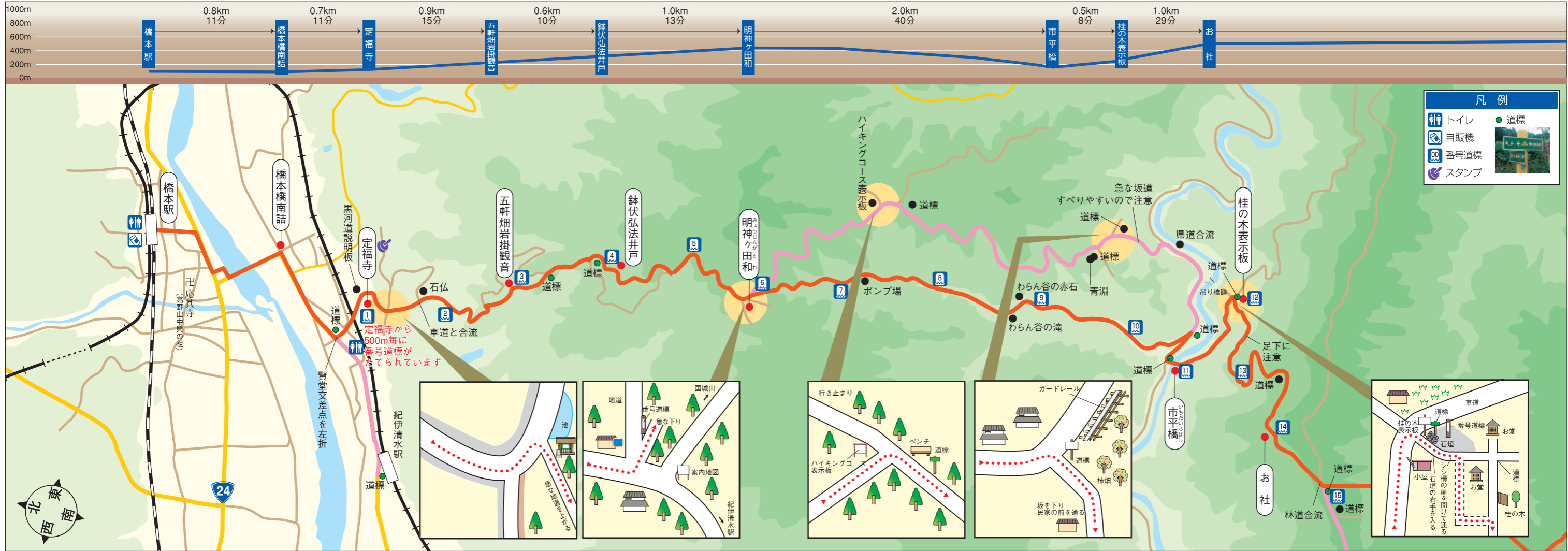


【高野参詣道黒河道 橋本駅(橋本市)～高野幹部交番(高野町)】①

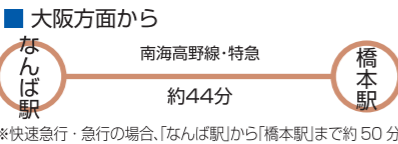
歩行距離 18.1km
標準歩行時間 5時間44分
標準所要時間 7時間35分

橋本市からほぼ真南に高野山をめざす健脚ルート。
いくつかの集落・集落跡を通り、峠越えを重ねて高野山をめざします。



スタート地点までのアクセス

大阪方面からは、南海高野線「なんば駅」を起点に特急、快速急行又は急行にて「橋本駅」へ。または、JR和歌山線で「橋本駅」へ。



※快速急行・急行の場合、「なんば駅」から「橋本駅」まで約50分

南海高野線 特急こうや停車駅
なんば、新今宮、天下茶屋、堺東、金剛、河内長野、林間田園都市、橋本、極楽橋
南海高野線 快速急行・急行停車駅
なんば、新今宮、天下茶屋、堺東、北野田、金剛、河内長野、三田市町、美加の台、林間田園都市からの各駅
急行は上記河内長野までの停車駅と河内長野からの各駅

上市平の吊り橋

県道合流直後に、和歌山県の名勝にも指定されている「玉川峡」に昭和30年頃架設された吊り橋がありました。しかし、現在はなくなっており、約500m下流の市平橋に迂回することになりますが、この吊り橋は半世紀以上にわたり周辺住民の暮らしと、道行く人々を支えてきました。吊り橋の真下通常水面上2m位の所に、旧橋の痕跡があり、川への降り口には2体の石仏が祀られています。

桂の木

市平集落の氏神社「春日神社」に、九度山町指定文化財の「桂の木」があります。カツラ科の雌株一本で、樹高35m、胸高直径1.1m、根の回り約8m、樹齢推定で300年以上の大木。明治初期の頃、この付近に18本のカツラの木が林立し、荘厳な景観を誇っていました。この木の特徴は、四季おりおり葉の色が七色に変わり、近郷住民は農耕暦の尺度として、この木を大切に守り育ててきました。